

## サービス担当者会議の要点

作成年月日 令和6年9月20日

利用者名 鳩山 太郎 様

居宅サービス計画作成者(担当者)氏名 居宅 花子

開催日 令和 6 年 9 月 10 日

開催場所 自宅 開催時間 13:00~14:00 開催回数 1

会議出席者	所属(職種)	氏名	所属(職種)	氏名	所属(職種)	氏名
	本人	鳩山 太郎 様	介護老人保健施設 理学療法士	大豆戸 太郎 氏	大豆戸事業所 介護支援専門員	居宅 花子
	妻	鳩山 花子 様	鳩山事業所 福祉用具専門相談員	福祉 介護 氏		
検討した項目	歩行器の屋内用及び屋外用の複数貸与の必要性について			①本人の状態について(介護認定から複数貸与が必要になった経緯を記載) ②本人・家族の意向(複数貸与について、本人及び家族に説明し、同意を得ている旨も必ず記載してください。) ③福祉用具専門相談員の意見 ④担当介護支援専門の意見 ⑤専門職の意見		
検討内容	<p>①本人の状態について</p> <p>RO年〇月〇日に頸椎圧迫骨折により入院し、リハビリをした後、RO年〇月〇日に退院し在宅生活となる。                      介護認定の申請を行い、要介護2の認定を受ける。</p> <p>退院後しばらくは、伝い歩きで移動していたが、歩行が不安定で転倒の危険性が高いため、屋内でも小回りの利くピックアップ歩行器を導入した。今後、デイケアの利用を予定しており、外出機会の増加が見込まれる。同居家族に妻がいるが、本人同様で高齢で足が悪いため、外出の度に貸与中のピックアップ歩行器のタイヤの拭き取りや持ち運びをすることは、困難である。屋外では、屋内で使用しているピックアップ歩行器より大型で安定感のあるシルバーカー型歩行器の導入を検討している。</p> <p>②本人及び家族の意向</p> <p>デイケアに通いできるだけ自分でできることを増やしていきたい。妻も高齢のため屋内外で歩行器を併用するのは、管理上難しい。                      シルバーカー型の歩行器を使用し、安全にデイサービスに通いたい。妻も本人の意思を尊重し、本人が望む生活をさせてあげたいと話あり。</p> <p>③福祉用具専門相談員の意見</p> <p>シルバーカー型の歩行器2台を実際に本人に使用してもらった結果、キャスターが大きめで安定感のあったものに決定した。歩行の不安定さを軽減しより安全に移動できる。</p>					

	<p>④担当介護支援専門員の意見</p> <p>鳩山氏については、現在、要介護2の認定を受けており、本人の自立支援を促進するため、屋内・屋外用の歩行器を貸与する必要がある。</p> <p>⑤専門職(理学療法士)の意見</p> <p>※専門職の意見を記載。</p>
結論	<p>夫婦ともに高齢で、屋内用歩行器を屋外でも使用することは、管理上難しい。</p> <p>屋外用歩行器を使用し、デイケアに継続的に通ってもらうことで、本人の自立支援につながる。</p> <p>以上のことから、屋内・屋外用の歩行器を貸与する必要がある。</p>
残された課題  (次回の開催時期)	<p>屋外歩行器の効果等について、十分に検証を行う。</p> <p>現在の認定期間が来年の3月31日までのため、時期が来たら再度必要性を検討する。</p>